

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>1. 一般国道4号の4車線拡幅整備について</p> <p>1 一般国道4号金ケ崎拡幅の調査・設計・用地買収の推進を図ること。</p> <p>一般国道4号金ケ崎拡幅の事業促進に向けて、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』</p> <p>一般国道4号金ケ崎区間の4車線拡幅整備につきまして、岩手県の支援により、国による事業化が決定したことに対しまして、御礼申し上げます。</p> <p>当区間の渋滞解消は、本県産業振興、雇用確保の観点、地方創生の取組の推進につながることから、国への働きかけについて、なお一層のご高配を賜われますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』</p> <p>◆当該区間は、既に事業化されている北上拡幅整備事業と水沢バイパス整備事業に挟まれた区間で、2車線のいわゆるボトルネック箇所となっており、交通渋滞アンケートや企業アンケートの結果、県南の渋滞箇所ワースト1位となっているほか、渋滞対策の推進や4車線化を望む意見が出されている。</p> <p>◆岩手中部（金ケ崎）工業団地には、東北を代表する先端技術産業及び自動車関連産業等の企業が立地しており、特に、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場は、トヨタ自動車における小型車の生産拠点として、販売台数国内上位の「C-HR」や「アクア」の完成車を生産、更には、「ヴィッツ」も生産移管予定にあるほか、運送業などの新たな関連企業の進出や雇用の拡大にもつながっている。</p>	<p>県では、内陸部における物流の円滑化や地域間の交流・連携を促進し、快適・安全な生活の確保を図る道路として、一般国道4号の整備の重要性を認識しており、6月8日に行った2019年度政 府予算提言・要望において、ご要望の金ケ崎拡幅を含む一般国道4号の整備促進について国に要望しております。</p> <p>金ケ崎拡幅については、平成30年度、道路設計、用地調査を行うと国から聞いていますが、事業推進が図られるよう、引き続き、当該区間の早期完成について国へ強く働きかけていきます。 (A)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>A:1</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>◆隣接する北上南部工業団地内では、東北最大規模の日本郵便(株)岩手郵便局や大和ハウス工業(株)物流センターが立地しているほか、北上市に東芝メモリ岩手(株)が新たに半導体工場の建設を開始するなど、物流の一大拠点化も進んできているところである。</p> <p>◆今後、人口問題の克服、周辺市町を含めた地域産業を牽引し、産業活性化による雇用の確保、岩手の復興の後押し、まちづくりの発展、総合戦略の効果的な推進を図るためには、地方創生の礎となる一般国道4号の渋滞を緩和して、岩手中部(金ケ崎)工業団地に係る物流の効率化、生産性の向上を図ることが不可欠である。</p> <p>『期待される効果』</p> <p>■渋滞緩和による物流の効率化、生産性の向上</p> <p>※三ヶ尻交差点改良事業に伴う効果 渋滞距離(上り 600m⇒160m、下り 500m⇒200m) 通過時間(上り 5分18秒⇒1分18秒、下り 2分40秒⇒53秒)</p> <p>※通勤車両 約5,000台/日(従業員約6,000人が就業) ※完成車両を運ぶキャリアカー 約210台/日</p> <p>■産業振興による雇用創出</p> <p>※東北に拠点を置き部品を納める1次仕入れ先と、2次仕入れ先の企業は平成28年度から40社増加。また、雇用面では、平成25年度以降、新卒者536人を採用し、多くの本県出身者も雇用されている。</p> <p>東芝メモリ岩手(株)では、新工場の従業員300人程度からスタートし、段階的に1,000人まで拡大予定。</p> <p>以上のことから、一般国道4号金ケ崎拡幅の事業促進について、国へ働きかけていただきますよう、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 一般国道4号金ケ崎拡幅の調査・設計・用地買収の推進を図ること。</p>				

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>1. 一般国道4号線の4車線拡幅整備について 2 基幹道路を「重要物流道路」として指定し、道路網の必要な機能強化や、重点整備・支援を行うこと。</p> <p>2 東北自動車道、一般国道4号沿線は、地域経済の活性化を図る産業集積地域となっていることから、高規格道路をはじめとした基幹道路について、確実に「重要物流道路」として指定し、平常時・災害時を問わず安全かつ円滑な輸送を確保するほか、指定された道路網の必要な機能強化や重点整備・支援を行うこと。</p>	<p>平成30年3月に公布された道路法一部改正において、重要物流道路制度が新設され、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、国土交通大臣が物流上重要な道路輸送網を「重要物流道路」として指定し、機能強化、重点支援が行われることとなりました。</p> <p>県としては、高規格幹線道路や地域高規格道路、国道4号をはじめとした幹線道路を確実に重要物流道路に指定し、指定されたネットワークを中心に機能強化や整備の重点支援を行うよう、国に強く働きかけていきます。(B)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B:1</p>
<p>1. 一般国道4号線の4車線拡幅整備について 3 道路関係予算の長期的・安定的な確保と、平成31年度当初予算における公共事業関係費の大幅な増額を図ること。</p> <p>3 公共事業関係費を平成21年度以前の7～8兆円規模に回復させ、岩手県南地域の自動車関連産業等の生産性向上に資する道路整備への投資が可能となるよう、道路関係予算を長期的・安定的に確保すること。また、平成31年度当初予算における公共事業関係費の大幅な増額を図ること。</p>	<p>県では、平成30年6月8日に行った2019年度政府予算提言・要望において、地方創生の基盤となる社会資本の整備等を推進するため、国の公共事業関係費の総額を安定的・持続的に確保するよう国に要望しております。</p> <p>6月に閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)2018において、「生産性向上等のストック効果を最大限発揮するための予算の重点化」が明示されており、県としては、引き続き、生産性向上に資する道路整備が図られるよう、公共事業関係費の確保について、国に強く働きかけていきます。(B)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B:1</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>2. 北上川流域における自動車・半導体産業に対する集中的投資について</p> <p>1 北上川流域に特化した岩手県土地開発公社を活用する等岩手県主導による産業用地の造成・整備を行うこと。</p> <p>要望事項 岩手県として、北上川流域における自動車・半導体産業振興への集中的投資について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』 自動車・半導体産業の集積が加速化している北上川流域に対して岩手県としても集中的に投資し、産業集積の絶好の機会を確実にとらえ、本県の更なる産業振興に向けた基盤強化を進められますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』 ◆トヨタのコンパクトカーの製造拠点の一つである北上川流域は、岩手県における自動車産業の重要拠点として位置付けられており、今後、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場では、継続的な新車種の生産が見込まれるほか、(株)デンソー岩手など主要サプライヤーによる大型設備投資や地場企業の自動車産業への参入も着実に進み、本県経済を牽引している。 ◆併せて、半導体産業においても、今般、隣接する北上市に東芝メモリ岩手(株)が新工場を建設し2020年に操業を開始する予定であり、更に東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株)による大型設備投資が続くなど、当地域における産業集積が加速化している。 ◆このように、更なる産業集積に向けた絶好のチャンスが到来している中、当地域における産業用地の不足や物流路線の維持管理などインフラ整備が課題となっている。中でも、産業用地は、ここ数年で新規立地や設備投資が続いた中で、企業のニーズに応えられる用地が不足し、更に近隣の宮城県との比較においても不足しており、自動車・半導体産業を中核とした産業振興による地方創生を推進するうえで、広域的且つ喫緊の課題となっている。</p>	<p>県南地域において、産業用地が不足しつつある状況については、県としても認識しているところです。</p> <p>産業用地の整備については、基本的に市町村において対応すべきものと考えており、県としては、市町村の状況や企業ニーズの把握を行いつつ、市町村による産業用地整備が円滑に行われるよう必要な支援を行っていきます。</p> <p>なお、産業用地の整備には多額の費用を要することから、県では国に対して、産業用地の整備に対する支援を行うよう要望しているところです。(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>C : 1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当 所属名	反映 区分
<p>『期待される効果』</p> <ul style="list-style-type: none"> ■全国有数のものづくり産業の集積地形成 ■企業経営に優位な産業基盤の強化 ■広域的な雇用と税収の確保 <p>以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 北上川流域に特化した岩手県土地開発公社を活用する等岩手県主導による産業用地の造成・整備を行うこと。</p>				

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>2. 北上川流域における自動車・半導体産業に対する集中的投資について</p> <p>2 町道南花沢・前野線を県道に移管すること。</p> <p>岩手県として、北上川流域における自動車・半導体産業振興への集中的投資について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』</p> <p>自動車・半導体産業の集積が加速化している北上川流域に対して岩手県としても集中的に投資し、産業集積の絶好の機会を確実にとらえ、本県の更なる産業振興に向けた基盤強化を進められますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』</p> <p>◆トヨタのコンパクトカーの製造拠点の一つである北上川流域は、岩手県における自動車産業の重要拠点として位置付けられており、今後、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場では、継続的な新車種の生産が見込まれるほか、(株)デンソー岩手など主要サプライヤーによる大型設備投資や地場企業の自動車産業への参入も着実に進み、本県経済を牽引している。</p> <p>◆併せて、半導体産業においても、今般、隣接する北上市に東芝メモリ岩手(株)が新工場を建設し2020年に操業を開始する予定であり、更に東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株)による大型設備投資が続くなど、当地域における産業集積が加速化している。</p> <p>◆このように、更なる産業集積に向けた絶好のチャンスが到来している中、当地域における産業用地の不足や物流路線の維持管理などインフラ整備が課題となっている。中でも、産業用地は、ここ数年で新規立地や設備投資が続いた中で、企業のニーズに応えられる用地が不足し、更に近隣の宮城県との比較においても不足しており、自動車・半導体産業を中核とした産業振興による地方創生を推進するうえで、広域的且つ喫緊の課題となっている。</p>	<p>県道昇格については、市町村間を結ぶ道路など道路法に規定する認定要件を具備する必要がある、これらの要件を満たした路線について、地域の道路網における市町村道との機能分担や、整備・管理する必要性等を総合的に判断の上行うこととしており、現在のところ、御要望の区間の県道昇格は難しい状況です。</p> <p>(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C : 1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>『期待される効果』</p> <ul style="list-style-type: none"> ■全国有数のものづくり産業の集積地形成 ■企業経営に優位な産業基盤の強化 ■広域的な雇用と税収の確保 <p>以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>2 町が管理している町道のうち、物流の主要経路であり、かつ近隣市町からの通勤経路となっている町道南花沢・前野線を県道に移管（総延長6,750メートル）すること。</p>				

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>3. J R 東北本線の利便性向上について 盛岡駅から水沢駅間の増便について、特段のご高配をお願いいたします。</p> <p>『要旨』 J R 東北本線利用者の利便性を高めるため、盛岡駅から水沢駅間の増便について、J R 東日本(株)への働きかけをお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ J R 東北本線は、胆江地域及び両磐地域における住民生活や経済活動に密接な関わりを持っている重要な鉄道路線である。 ◆ 平泉の世界遺産文化登録を背景に多くの観光客が訪れており、地域内の東北本線利用者も増加している。 ◆ 自動車関連等をはじめ、事業所の集積が進む中、今後も多くの新規雇用が見込まれており、当町を含む近隣市町に多くの従業員が定住することが期待される。このような中で、従業員等の通勤手段の一つである J R 東北本線の運行本数が朝夕の時間帯を除き 1 時間間隔であることから、通勤手段として有効に活用できず、やむを得ず自家用車を利用することとなり、国道 4 号等の更なる混雑につながると予想される。 ◆ J R 東北本線は、町外及び町内へ通学する学生の貴重な交通手段であるが、運行本数が少ないことから、朝夕の混雑により通学に不便な状況となっている。 ◆ 胆江地域と両磐地域にまたがる北上高地が、国内の研究組織「ILC 戦略会議」による国際リニアコライダー (I L C) の国内候補地とされ、県都盛岡市周辺地域と当地域とを結ぶ東北本線は、今後ますます重要な役割を果たすことになると予想される。 	<p>鉄道路線については、地域の意向をダイヤ編成等に反映することにより、利用者の利便性向上を図ることが重要であると考えています。</p> <p>J R 線のダイヤ改正については、毎年度、市町村等の要望を県が取りまとめ、J R 東日本盛岡支社に対して要望書を提出しており、引き続き地域の意向を J R 東日本に要望していきます。</p> <p>(B)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B : 1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>『期待される効果』</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ J R 東北本線の利用者の増加 ■ 金ヶ崎駅及び六原駅周辺への移住・定住による駅前活性化 ■ 自動車関連等をはじめとする事業所の従業員の通勤の利便性向上 ■ 国道 4 号等の朝夕の通勤時間帯の混雑の緩和 <p>以上のことから、次の事項について J R へ働きかけていただきますよう要望いたします。</p> <p>1 北上駅発着の普通列車を水沢駅発着に変更</p>				

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>4. 県立胆沢病院の医療体制の充実について 県立胆沢病院の産婦人科医師の確保対策について特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』 胆江保健医療圏への産婦人科医師の確保による周産期医療体制の充実、特に県立胆沢病院の体制強化について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』 ◆人口減少が進行しているなかで、各市町では少子化への対応を重点課題として様々な取組を進めているところであり、特に安心して子どもを産み育てられる環境の整備が必要であると考えている。 ◆県立胆沢病院は、胆江保健医療圏内の各医療機関と地域医療の連携の中心かつ重要な役割を担っているが、県地域医療構想の達成に向けた病床機能の分化と連携が進む中で、重要性が更に増すものと考えられる。 ◆胆江保健医療圏内の周産期医療体制については、県立胆沢病院が平成19年8月に産婦人科を休診して以降、平成27年には奥州市内の民間の医療機関の中でも産科を休診したところもあり、体制の確保に苦慮している。 ◆当町における出産の医療機関別の内訳では、県立中部病院と北上済生会病院における出産が約4割を占めていることから、設備や人員体制の充実した公的医療機関での出産を希望する妊産婦も多いと考えている。 ◆そのような中で、胆江保健医療圏内に地域周産期母子医療センターに位置付けられる医療機関がないことは緊急事態であり、早急な対応が必要と思われる。</p>	<p>県では、県内に4つの周産期医療圏を設定し、医療機関の機能分担と連携の下、分娩リスクに応じた医療提供体制の整備を推進しており、胆江地域が含まれる県南圏域（岩手中部・胆江・両磐周産期医療圏）は、県立中部病院、県立磐井病院及び北上済生会病院が地域周産期母子医療センターとなり、リスクの高い分娩を担うこととなっています。また、分娩に対応する医療機関や市町村の間で、妊産婦等の情報を共有する周産期医療情報ネットワーク「いーはとーぶ」による連携にも努めています。</p> <p>県立胆沢病院の産婦人科は、現在、開業医による診療応援により、週1回、婦人科の外来診療を行っているところであり、出産への対応は難しいものと考えています。</p> <p>産婦人科の医師については、専攻する医師が少ないため、胆沢病院へ直ちに常勤医師を配置することが困難な状況であり、まずは地域周産期母子医療センターの充実を図る必要があると考えます。（C）</p> <p>今後においても、関係大学等への医師派遣要請や即戦力医師の招聘等を粘り強く続けて行くとともに、岩手中部・胆江・両磐周産期医療圏の連絡調整会議等を開催するなどし、地域周産期母子医療センター等医療機関との連携体制の構築に取り組み、周産期母子医療体制の充実・強化に努めていきます。（B）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部</p>	<p>B：1 C：1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当 所属名	反映 区分
<p>『期待される効果』 ■妊産婦の不安が解消され、安心して出産に臨むことができる 以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 県立胆沢病院の産婦人科医師の確保対策に努め、安心して子どもを産み育てられる医療体制の充実を図ること。</p>				

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>5. 岩手県立農業大学校における人材育成等について 岩手県立農業大学校の機能強化による人材育成について特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』 担い手の減少や高齢化などの課題が顕在化する中、金ケ崎町をはじめとした岩手県の農業が継続的に発展するには、省力で高品質生産を実現するスマート農業の推進やGAPの認証取得等による経営高度化への取組が不可欠となっています。 また、町内では、昭和7年から80年以上にわたり、農業青年等の教育が行われていることから、県立農業大学校において、これら経営高度化の取組に対応できる人材の育成に向けた取組強化と大学の魅力向上に特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』 ◆農家数、農業従事者数は減少の一途であるとともに労働力不足が深刻となっており、熟練した農業者の知識や栽培技術の次世代への継承とともに、省力的・効率的な生産技術導入や的確な農業生産管理等による経営高度化が求められており、このような先進的な農業技術を先導できる人材の育成・確保が喫緊の課題である。 ◆当町六原は、昭和7年の県立六原青年道場が設置からこれまで80年以上にわたり、農業青年等の教育の地となっている。 ◆全国的に少子化が進んでおり、各大学間の入学者確保競争が激化する中、当大学校においても専門職大学化・県立大の農学部化などのさらなる魅力向上対策が不可欠となっている。</p> <p>『期待される効果』 ■地域を先導する農業経営者（後継者）の育成 ■農業大学校と地域の連携による高度な農業技術の普及定着</p>	<p>1 農業大学校では、農業・農村の幅広い知識と実践的技術を生身につける教育を行っていますが、今年度からカリキュラム改正し、従来の教育に加え、国際水準GAPの取組、環境制御型園芸ハウスやスマート水田農業施設・機械を活用した高度な生産技術の習得を進めていくこととしています。（B）</p> <p>2 これら高度な生産技術については、先進的な農業経営体を講師とした実習や農業研究センターで開発した技術実証等を通じて、基礎から高度な技術まで身に付けられるよう教育の充実を図るとともに、農業者研修などを通して広く県内に普及定着を図っていくこととしています。（B）</p> <p>3 農業大学校の魅力向上対策として、上記のほか、平成19年度からの専修学校への移行により、国立の農業系大学への編入が可能となっており、希望する生徒に対してきめ細かな指導に取り組んでいるところです。 また、農業大学校の専門職大学化については、メリット・デメリットを慎重に検証し、今後とも、農業大学校のさらなる魅力向上に向けて、学生や保護者のニーズを踏まえながら、教育課程など幅広く検討していきたいと考えています。（B）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>農政部</p>	<p>B：3</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当 所属名	反映 区分
<p>要望事項【重点要望】 岩手県立農業大学校の機能強化による人材育成について特段のご高配をお願い申し上げます。 以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 農業大学校の機能強化による先進技術に対応できる人材を育成すること。 2 地域と連携した先進技術の普及定着に取り組むこと。 3 将来的な専門職大学化・県立大の農学部化などさらなる魅力向上対策を検討すること。 				

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>6. 優良な種子の安定生産体制を継続するための岩手県主要農作物種子条例の制定について 岩手県主要農作物種子条例を制定していただきますよう、特段のご高配をお願い申し上げます。 『要旨』 岩手県の主要農作物の優良な種子が安定的に生産及び普及が図られ、生産者が安心して営農に取り組み、高品質な県産農産物が消費者に提供できるよう、岩手県主要農産物種子条例を制定いただきますよう、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。 『現状と課題』 ◆我が国の食と農を支えてきた主要農作物種子法（以下「種子法」という。）が平成30年4月1日に廃止され、種子法は、国や都道府県に対する公的役割を明確にしたものであり、同法のもとで、稲・麦・大豆などの主要農作物の種子の生産・普及のための施策が実施され、農業者には優良で安心な種子が、消費者には美味しい米など農作物が安定的に供給されているところである。 ◆種子法の廃止により、今後、稲などの種子価格の高騰、地域条件等に適合した品種の生産・普及などの衰退が心配されている。 ◆地域の共有財産である「種子」を民間に委ねた場合、長期的には世界の種子市場を独占する遺伝子組換え企業が日本の種子市場を支配していく懸念も指摘されています。このことは、我が国の食の安全・安心、食料主権が脅かされることであり、県民にとっても大きな問題である。</p>	<p>1 岩手県主要農作物種子条例を制定すること 本県の農業振興を図るうえで、米、麦及び大豆の優良種子の安定供給は、極めて重要であると考えており、種子法廃止後においても、要綱等を制定し、引き続き、県が関与し、優良な種子を安定的に生産・供給する体制を堅持しているところです。 現時点において、生産・流通現場で、粗悪な種子が流通するなどの問題は生じていないと認識していますが、他の道県では、条例を制定する、あるいは制定に向けた検討を開始するなどの動きもあるところです。 条例の制定については、今後、行政法学研究者など専門家の見解等もいただきながら、研究していきます。（B）</p> <p>2 条例の円滑な推進に必要な財政措置と万全な体制を構築すること 県は、要綱等により、水田農業の基幹である米・麦・大豆を生産する上で、極めて重要な生産資材である種子を、引き続き安定的に生産・供給するため、万全な体制を堅持していきます。 なお、平成31年度政府予算要望において、都道府県が、これまでどおり種子の生産及び普及に取り組むことができるよう、地方交付税措置を堅持することを要望しております。（A）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>農政部</p>	<p>A：1 B：1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当 所属名	反映 区分
<p>◆種子法廃止法案の可決に当たっては、種子法が主要農作物種子の国内自給及び食料安全保障に多大な貢献をしてきたことに鑑み、優良な種子の流通確保や引き続き都道府県が種子生産等に取り組むための財政措置、特定企業による種子の独占防止などについて、万全を期すことを求める附帯決議がなされている。</p> <p>◆岩手県においては、要綱・要領を制定して対応しているが、より確実な政策実現と予算措置を担保するには、条例化が有効であることから、全国的に条例化の動きが進んでいる。</p> <p>以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 岩手県主要農作物種子条例の制定すること 2 条例の円滑な推進に必要な財政措置と万全な体制を構築すること</p>				

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>7. 茅文化保存のための茅生産に対する支援について</p> <p>1 千貫石茅場を含む県有地を町に無償で譲渡していただくこと</p> <p>茅葺屋根文化財の保存修復に必要な山茅の一大生産地である千貫石茅場を含む県有地の無償譲渡について特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』 千貫石茅場を千貫石ため池の水源涵養と環境保全のため、長期的に茅場として適正に管理することができるよう、当該県有地の譲渡について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』 ◆千貫石ため池は金ヶ崎町、北上市の1,360haに及ぶ広大な農地を潤すため池として重要な役割を果たしている。このことから、ため池の上流部（県有地）で農薬や化学肥料等が使用されると水質が汚染され、有機農業や減農薬栽培などの多様な農業が困難となる。このため、町では、ため池の上流部にある県有地を借用し、肥料や農薬を必要としない山茅生産を実施してきている。 ◆長年にわたる千貫石茅場での山茅生産・出荷により、茅葺屋根修復資材の保存修復に必要な山茅の一大生産地としてその重要性が認められ、町指定文化財をはじめ、全国各地への供給が実現するとともに、平成27年3月24日付けで文化庁の「ふるさと文化財の森」の設定を受けている。 ◆このような状況の中で、千貫石茅場を含む県有地については、賃借料は無償としていただいているものの、単年度で賃貸借契約を締結していることから、茅生産の長期ビジョンが描けず、環境保全も担保できない状況である。 ◆町では、今後も良質な山茅を全国に安定供給していくため、栽培技術、機械刈技術の開発を含めた生産方法について検討しながら長期的に取り組んでいきたいと考えている。</p>	<p>県有財産を無償譲渡（譲与）する場合には、「財産の交換、譲渡、貸付け等に関する条例」に規定する諸条件を満たす必要がありますので、貴町の事業計画等を作成のうえ、担当部署に御相談いたします。</p> <p>なお、県では、特段の事情変更がない限り、これまで同様に引き続き無償貸与していく考えです。（B）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>農政部</p>	<p>B：1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当 所属名	反映 区分
<p>『期待される効果』</p> <ul style="list-style-type: none"> ■千貫石茅場の長期的な維持管理による千貫石ため池の水源涵養と環境保全 ■町産山茅の安定生産による茅葺屋根文化財の保存修復 <p>以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 千貫石茅場を含む県有地を町に無償で譲渡していただくこと。</p>				

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>7. 茅文化保存のための茅生産に対する支援について 2 地域産業資源である町産山茅を県内の茅葺屋根文化財修復に積極的に利用すること。 茅葺屋根文化財の保存修復に必要な山茅の一大生産地である千貫石茅場を含む県有地の無償譲渡について特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』 千貫石茅場を千貫石ため池の水源涵養と環境保全のため、長期的に茅場として適正に管理することができるよう、当該県有地の譲渡について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』 ◆千貫石ため池は金ヶ崎町、北上市の1,360haに及ぶ広大な農地を潤すため池として重要な役割を果たしている。このことから、ため池の上流部（県有地）で農薬や化学肥料等が使用されると水質が汚染され、有機農業や減農薬栽培などの多様な農業が困難となる。このため、町では、ため池の上流部にある県有地を借用し、肥料や農薬を必要としない山茅生産を実施してきている。 ◆長年にわたる千貫石茅場での山茅生産・出荷により、茅葺屋根修復資材の保存修復に必要な山茅の一大生産地としてその重要性が認められ、町指定文化財をはじめ、全国各地への供給が実現するとともに、平成27年3月24日付けで文化庁の「ふるさと文化財の森」の設定を受けている。 ◆このような状況の中で、千貫石茅場を含む県有地については、賃借料は無償としていただいているものの、単年度で賃貸借契約を締結していることから、茅生産の長期ビジョンが描けず、環境保全も担保できない状況である。 ◆町では、今後も良質な山茅を全国に安定供給していくため、栽培技術、機械刈技術の開発を含めた生産方法について検討しながら長期的に取り組んでいきたいと考えている。</p>	<p>文化財である茅葺屋根修復は、文化財の所有者及び各自治体において業者に委託するなど個別に施工していますが、文化庁の「ふるさと文化財の森」としての設定を受けている本県の貴重な植物性資材ですので、県教育委員会としても金ヶ崎町産山茅について、指定文化財を所管する各市町村教育委員会や所有者に対し、その活用について情報提供を行うなど、積極的な利用につながるよう支援していきます。（A）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>県南教育事務所</p>	<p>A：1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当 所属名	反映 区分
<p>『期待される効果』</p> <ul style="list-style-type: none"> ■千貫石茅場の長期的な維持管理による千貫石ため池の水源涵養と環境保全 ■町産山茅の安定生産による茅葺屋根文化財の保存修復 <p>以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>2 地域産業資源である町産山茅を県内の茅葺屋根文化財修復に積極的に利用すること。</p>				

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>8. 一般県道久田笹長根線の歩道整備の促進について 1 六原幼稚園東側から一般県道前沢北上線までの区間の歩道整備に係る事業を促進すること。 一般県道久田笹長根線の歩道施設整備について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』 一般県道久田笹長根線の歩道整備の促進につきましては、昨年度、六原幼稚園東側から県道前沢北上線までの0.8km区間の詳細設計を実施していただくとともに、今年度、用地測量等を実施することとされており、事業が進んでいることに対しまして、御礼申し上げます。 歩行者の安全確保のため、当該区間の事業促進及び未整備区間の早期整備について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』 ◆一般国道4号から北上市和賀に至る一般県道久田笹長根線は、千貫石温泉、北上市西部の夏油温泉、夏油高原スキー場をはじめとする豊かな観光資源へのアクセスとして、また岩手県立農業大学校、岩手県立花きセンター及び東北横断自動車道（釜石秋田線）へのアプローチとして地域に密着した路線である。 ◆自動車産業等の振興に伴い、北上・金ケ崎ICや一般県道前沢北上線から岩手中部（金ケ崎）工業団地等に向かう通勤車両及び物流の大型車両の交通量が急増している。 ◆児童・生徒が関係する事故があったことや、北部地区流通業務団地に新たに運送業者が進出するなど大型車の交通量が更に増加しており、地元住民や保護者などから児童・生徒、高齢者等の歩行者の安全確保を強く求められている。</p>	<p>歩道整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況です。 御要望の区間については、平成30年度に事業着手し、今年度は環境調査、用地測量等を実施しました。平成31年度は物件調査、用地測量を実施する予定です。今後とも地元の御協力をいただきながら、整備推進に努めていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>A：1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当 所属名	反映 区分
<p>『期待される効果』 ■歩道整備による児童・生徒及び高齢者等の安全の確保 以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 六原幼稚園東側から一般県道前沢北上線までの区間の歩道整備に係る事業を促進すること。</p>				

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>8. 一般県道久田笹長根線の歩道整備の促進について 2 一般県道久田笹長根線の歩道整備に係る未整備区間を解消すること。 一般県道久田笹長根線の歩道施設整備について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』 一般県道久田笹長根線の歩道整備の促進につきましては、昨年度、六原幼稚園東側から県道前沢北上線までの0.8km区間の詳細設計を実施していただくとともに、今年度、用地測量等を実施することとされており、事業が進んでいることに対しまして、御礼申し上げます。 歩行者の安全確保のため、当該区間の事業促進及び未整備区間の早期整備について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』 ◆一般国道4号から北上市和賀に至る一般県道久田笹長根線は、千貫石温泉、北上市西部の夏油温泉、夏油高原スキー場をはじめとする豊かな観光資源へのアクセスとして、また岩手県立農業大学校、岩手県立花きセンター及び東北横断自動車道（釜石秋田線）へのアプローチとして地域に密着した路線である。 ◆自動車産業等の振興に伴い、北上・金ケ崎ICや一般県道前沢北上線から岩手中部（金ケ崎）工業団地等に向かう通勤車両及び物流の大型車両の交通量が急増している。 ◆児童・生徒が関係する事故があったことや、北部地区流通業務団地に新たに運送業者が進出するなど大型車の交通量が更に増加しており、地元住民や保護者などから児童・生徒、高齢者等の歩行者の安全確保を強く求められている。</p>	<p>歩道整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況です。 御要望の区間については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C：1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当 所属名	反映 区分
<p>『期待される効果』 ■歩道整備による児童・生徒及び高齢者等の安全の確保 以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>2 一般県道久田笹長根線の歩道整備に係る未整備区間を解消すること。</p>				

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>9. 北上川右岸治水対策事業について かさ上げ区間・無堤防区間解消の早期実施並びに北上川と宿内川の合流地点付近の崩落防止・護岸工事について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』 県の支援により、国の平成21年度繰越事業による三ヶ尻地区堤防の補強工事が平成23年度に完成したことに対しまして、御礼申し上げます。</p> <p>引き続き、無堤防区間解消の早期実施及び北上川と宿内川の合流地点付近の崩壊防止・護岸工事について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』 ◆本要望箇所は、平成23年度に堤防の補強工事が完成した江崎大橋南側から一級河川宿内川合流地点までの右岸下流約1,800mのうち、かさ上げが必要な区間が約700mであり、更に下流約1,100mが無堤防区間であることから、平成14年及び平成19年の大雨・台風により、田畑に冠水被害を受けたところである。 ◆北上川と宿内川の合流地点付近の水衝部法面には、著しい浸食がみられ、一部護岸ブロックで補強されているところであるが、近年のゲリラ豪雨による急激な増水等により住民が不安を抱えている状況にあり、こうした中、この水衝部の上部にある9戸の住宅のうち、最も川岸に近い住宅1戸が災害時の不安から、自主的に転居したところである。 ◆国選定城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区の区域境となっているほか、その上部は、金ケ崎城の東館があった場所であり、歴史的にも重要な箇所である。 以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 かさ上げ区間約700m、無堤防区間約1,100mの解消及び護岸ブロックの上流約100mを延長する工事の早期実施へ支援すること。</p>	<p>無堤防区間が多い北上川中流部（概ね紫波町から奥州市の間）においては、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水に伴い、5年間に2度も甚大な浸水被害を受けています。</p> <p>国では、北上川中流部緊急治水対策事業として、まずは住家への浸水被害の軽減を図ることを優先して進めることとしており、当該地区については他地区の進捗を勘案しながら対応すると聞いています。</p> <p>北上川の治水対策は、県としても重要な課題であり、整備促進に向け引き続き国に働きかけていきます。（B）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B：1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>10. (仮称)新金ヶ崎大橋の新設について 奥州市江刺と金ヶ崎町を結ぶ(仮称)新金ヶ崎大橋の新設について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』 奥州市江刺と金ヶ崎町を結ぶ(仮称)「新金ヶ崎大橋」の新設について、特段のご高配を賜われますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』 ◆奥州市江刺と金ヶ崎町を結ぶ金ヶ崎橋は、地域に密着した生活路線である県道江刺金ヶ崎線のうち北上川に架かる橋梁であり、近年、両市町や北上南部工業団地への自動車関連企業等の立地が進んでいることから、産業道路としても重要な役割を果たしている。 ◆当該路線は、岩手中部(金ヶ崎)工業団地、江刺中核工業団地、北上南部工業団地に関連する産業及び物流の路線として、金ヶ崎町と奥州市江刺、北上市と釜石港及び大船渡港、さらには秋田港を結ぶ産業・物流支援の重要道路でもある。 ◆金ヶ崎橋から県道沿い一帯は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されていることから、拡幅等の整備が制約され、その東に位置する金ヶ崎橋は、幅員が狭く歩道敷設も構造的にできない状況で、車両とすれ違う歩行者や自転車等の通行が常に危険と隣り合わせであり、大型車両等の通行ができない状況である。 ◆(仮称)「新金ヶ崎大橋」の新設は、産業振興に寄与し、企業誘致を進める上での重要な整備であり、将来の県南部の発展のために必要な道路になると考えている。 ◆対岸の奥州市及び地区住民とも、その必要性について認識をともにしているところであり、両市町及び住民が連携して要望等を行うことを検討している。</p>	<p>御要望の橋梁新設については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C:1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当 所属名	反映 区分
<p>『期待される効果』</p> <ul style="list-style-type: none"> ■物流の充実、拡大による産業振興 ■企業立地に伴う雇用の確保 ■自動車産業をはじめとする生産力の向上 <p>以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 奥州市江刺と金ヶ崎町を結ぶ（仮称）「新金ヶ崎大橋」を新設すること。</p>				